

## Yamaha MOTIF-RACK XS Editor VST V1.4.0 for Windows Release Notes

---

### 主なアップデートの内容

V1.3.0 → V1.4.0

#### <機能追加/仕様変更>

Cubase 5.5 シリーズに対応しました。

#### <問題の修正>

- ファイルメニューから新規作成を選択後に上書き保存を選択すると、保存に失敗する場合がある問題を修正しました。
- エディターがオンライン(ONLINE) の状態でインポートの実行中にエディター画面を閉じると、Cubase が強制終了する問題を修正しました。
- エディター画面を開いた状態で MIDI データを再生すると、まれに Cubase が強制終了する問題を修正しました。
- Cubase のプロジェクトを開いたとき、エディターの VSTi 設定が復元されない場合がある問題を修正しました。
- エディターからモードを変更したとき、全体のボリュームが 0 になる場合がある問題を修正しました。
- エディター画面のクローズボックスを連続クリックすると、Cubase が強制終了する問題を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

### 既知の問題

- エディターを再インストールした直後などに Cubase のメディアベイに MOTIF-RACK XS のボイスが表示されないことがあります。その場合は、メディアベイのブラウザー上で「更新」あるいは「再スキャン」を実行して下さい。
- Cubase のメディアベイから MOTIF-RACK XS のボイスを選び、Cubase にインストゥルメントトラックを作成してからエディターを起動すると、エディターが OFFLINE 状態で起動したり、Port Open Error が表示されることがあります。この場合、エディターの ONLINE/OFFLINE をクリックして ONLINE 状態にすることで、そのままお使いいただけます。

### 更新履歴

V1.2.0 → V1.3.0

#### <機能追加/仕様変更>

- Windows 7 に対応しました。
- Cubase 5.1 に対応しました。
- Yamaha Steinberg FW Driver V1.5.0 に対応しました。
- エディターの起動時間が短縮されました。
- エディター上または Cubase のメディアベイ上で、ボイスデータの VST プリセットを呼び出した場合は、エディターの現在のモードまたは起動モードの設定に関わらず自動的にボイスモードに切り替わり、同時に本体もボイスモードに切り替わるようになりました。これによって、ボイスデータのより正確な再現をスピーディーに行なえます。

#### 【注記】

上記の操作を行なった場合、エディターおよび MOTIF-RACK XS の編集集中のデータは自動的に消去されます。

- エディター上で[Ctrl]キーを押しながら[S]キーを押すと、DAW ソフトウェアのプロジェクトを上書き保存できるようにしました。
- Cubase のインストゥルメントトラックやメディアベイからエディターを起動するとき、エディターのスタートアップモードの設定に関係なく、ボイスモードで起動するように変更しました。ただし、エディターのオートスタート設定がオンの場合は、Auto Sync Setting (オートシンクセッティング) の Current (カレントデータ) の設定に従い、MOTIF-RACK XS 本体で現在選択されているモードと同じモードで起動します。

#### <問題の修正>

- Cubase のバーチャルキーボードを使用すると音が鳴り続けることがある問題を修正しました。
- コンピューターと楽器本体を USB ケーブルで接続しているとき、エディターの MIDI 設定が正しいにもかかわらず、エディターが楽器本体と正しく通信ができないことがある問題を修正しました。
- Cubase のメディアベイから MOTIF-RACK XS のボイスを頻繁に切り替えたとき、Cubase が強制終了することがある問題を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

---

本文に掲載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

(C) 2009-2010 Yamaha Corporation All Rights Reserved.